

パダン近況 スマトラ西部地震報告書

2009年10月15日

グッドネーパーズインドネシアは緊急支援物資 1400 袋を、以下の 3 村 1400 家族に配布した。

1. パダンパリアマン県バダンガサン、ナガリマライ V スク、コランマライタンガ村
2. アガム県マツール、ナガリマララクセラタン村
3. パダンパリアマン県パダンサゴ区

また、これら物資は 2 回に分けて配布された。

1. 2009年10月10日にコランマライタンガ村へ 400 袋提供した。
 - a. 医薬・衛生用品：
 - 石鹸 5 個
 - 歯磨き粉 2 本
 - 歯ブラシ 5 本
 - シャンプー 2 本
 - タオル 2 枚
 - 生理用品 2 袋
 - b. 蚊取り線香 2 箱
 - c. 蚊帳 1 枚
 - d. 毛布 1 枚
 - e. マット 1 枚
 - f. 部屋履き 3 足
 - g. 水 9 本
 - h. 米 10 キロ
2. 2009年10月13日にナガリマララクセラタン村に 660 袋、パダンサゴ区に 340 袋の合計 1000 袋の生活必需品を提供した。
 - a. 米 5 キロ
 - b. 砂糖 1 キロ
 - c. 小麦粉 1 キロ
 - d. 植物性油 2 リットル
 - e. ミネラルウォーター 6 リットル
 - f. 魚の缶詰 2 缶
 - g. 塩 1 袋
 - h. 紅茶 1 箱
 - i. シリアル 10 箱

10月10日コランマライタンガの2校に緊急スクールテントを配布した。今日まで、この地域では学校活動は行われていない。すべての小学校と中学校はダメージを受け、崩壊しているものさえあるからだ。すべての子供達は同じ学校に通っているため、授業をする場所もなく、すべての子供達が学校に行けていない状況である。

2009年10月17日、アガム県のナガリマララクセラタン村にさらに2つのテントを配布する計画である。

これら活動の経費は約3,150,000円であった。

地震被害の近況〔ソース：www.bnpb.go.id〕

犠牲者

- | | |
|-------------|---------|
| 1. 死者 | 1,115 人 |
| ● パダンパリアマン県 | : 675 人 |
| ● パダン市 | : 313 人 |
| ● アガム県 | : 80 人 |
| ● パリアマン市 | : 32 人 |
| ● ペシシルセラタン県 | : 9 人 |
| ● ソロク市 | : 3 人 |
| ● パサマンバラット県 | : 3 人 |
| 2. 行方不明 | : 1 人 |

建物

- | | |
|---------|-----------------------|
| 1. 全壊 | 265,067 戸 |
| 2. 半壊 | 135,333 戸 |
| 3. 学校 | 4,494 校、うち 2,073 校は全壊 |
| 4. 保健機関 | 105 か所 |
| 医療従事者 | 3,524 人 |

現在のところ、疾病発生の可能性はない。地震による新しい症状も見られていない。98%の公共保健センターはすでに稼働している。

崖崩れ地域

崖崩れの影響を受けた地域を訪れた。2009年9月30日、地震が起こったとき、丘地域では崖崩れがあり、2村が影響を受けた。この2村は Padang Pariaman Regency と Agam Regency という別々の地域にあり、川を隔てた場所にあった。Agam では 7 軒の家と 1 つのモスクで 33 人が生き埋めとなった。Padang Pariaman Regency では結婚式が行われており、300 人以上が生き埋めとなった。



7軒の家と1つのモスクで33人が生き埋めになった。この男性は二人の子供を亡くしました。彼らは、崖崩れが起こった時にモスクで勉強をしていました。



その他の写真と情報



人々は彼らの家の前の緊急テントで生活している。公共の緊急テントに人々を集めるのは難しい。なぜならほとんどの家はお互い隔たった場所にあるからだ。



彼らは、家から様々な品や家具を持ち出すことができない。彼らは多くのものを失った。



この女性は家が全て崩れてしまったので家の前で調理をするしかない



彼は仮設住宅に電気をつなごうとしている。仮設住宅は彼のもとの家から集めてきた亜鉛メッキのプレートでできている。



これらは隣接した村の2つの学校である。上記のように、4,494校の学校がダメージを受けた。

